

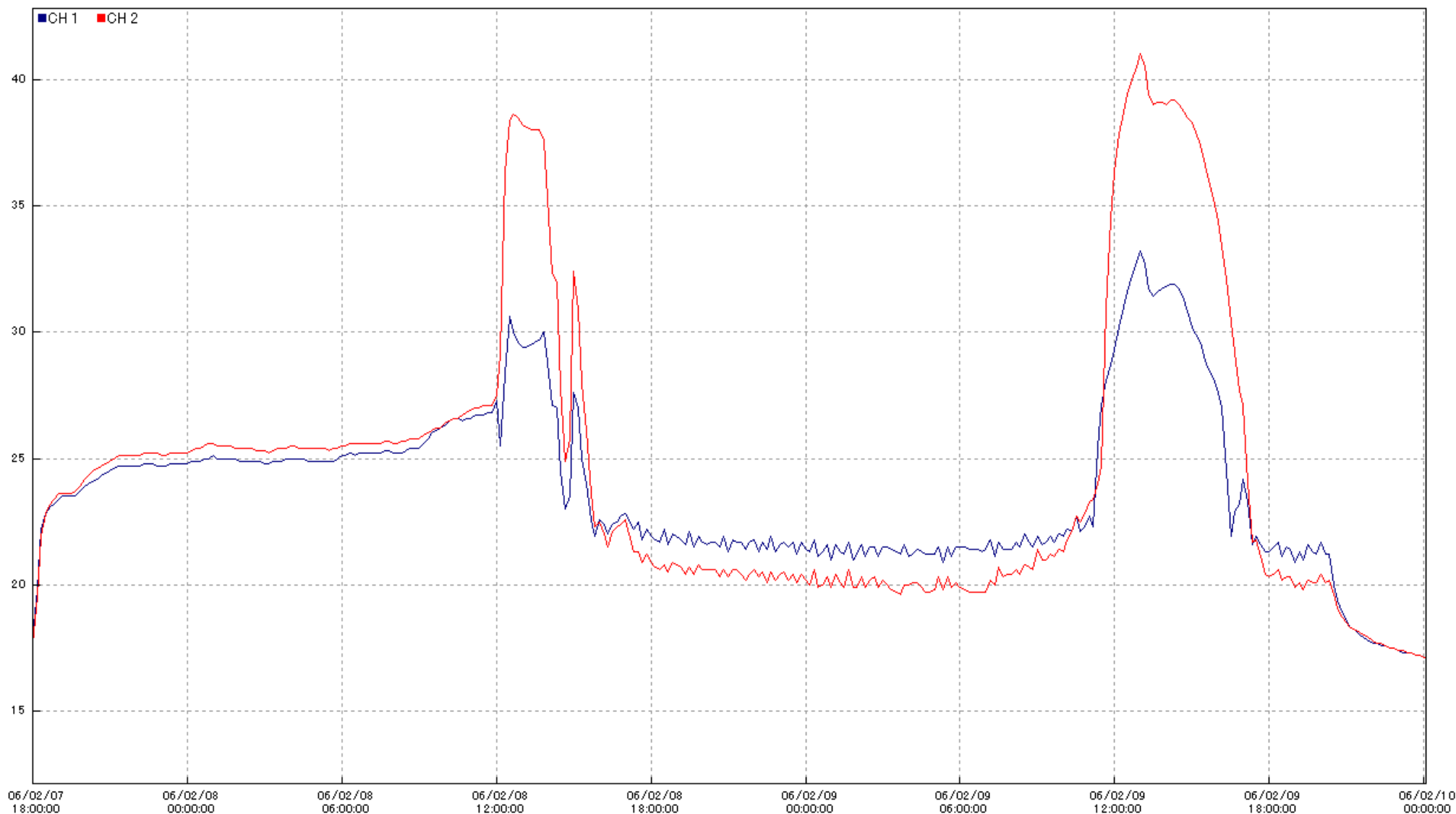
測定場所:浦安市 Aホテル 6階 測定機器 HIOKI 3633

測定環境:南側窓約 4.8平米にTH50を施工、一部(400×1700)を残し フィルム施工部分と未施工部分を積算温度計により比較し

センサーの設置詳細 高さ:床より約1.4m センサー間距離:約1.5m ガラス面より 10cm に設置した

空調設定温度 23°C 自動運転

CH1:フィルム有り CH2:フィルムなし 使用フィルム TH50 可視光線透過率55% 日射透過率43% 遮蔽係数 50% -



フィルム施工をしていない所のセンサー温度は最大で41°C(9日13時)に対しフィルム施工をしているセンサーの最大温度は33.2°C(9日13時)でした。(温度差7.8°C) 最大温度差は8.9°C(8日12:50)でした。

夜間は、放射熱を遮断することからフィルム施工ガラス付近は保温効果が見られます。ピーク電力が必要になる夏場の断熱効果は絶大と思われます。冬場においての効果も放射熱を遮断することから省エネ効果が期待できます。

*表示されている温度は、センサー機器の温度です。室温とは異なります。